

単元全体を見通して 1単位時間の授業をつくる

①単元全体及び1単位時間ごとの授業の指導事項を確認します。

大きな声で音読させたり、ひき算の学習をしたりしているけれど…?

「教師が何を教えるのか」ではなく、「子供は何ができるようになるか」ということに目を向けましょう。

何ができるように
なればいいのか?

どのような資質・能力を育成するのか、学習指導要領(解説)で確認しましょう。

【必読書】
「学習指導要領(平成29年告示)解説」(文部科学省)

小学校

中学校

②単元(題材)全体(ゴール)を見通した単元を計画します。

ゴールをイメージして単元構成を考えると見通しがもてると言われるけど…?

どう計画
すればいいのか?

小単元等の時間配分や1時間ごとのつながりを考え、1単位時間の授業の押さえどころを明確にしましょう。

- 求残の場面
2時間
- 求部分の場面
1時間
- 求差の場面
3時間

(例) 第1学年 算数 ひき算(1)

1	・数図の操作による <u>求残の場面理解</u>
2	・ <u>求残の場面</u> を引き算の式にして求める
3	・ <u>求部分の場面</u> を引き算の式に表して答えを求めること
4・5	・カードを使ったひき算の練習
6	・数図ブロックの操作による <u>求差の場面理解</u>
7	・ <u>求差の場面</u> をひき算の式で表し答えを求めること
8	・「ちがい」という用語による <u>求差場面</u> の理解と答えを求めること

単元全体における位置付けから、1単位時間ごとの指導のポイントを明確にしましょう。

③評価規準(Bと判断する状況)を具体的に設定します。

ワークシートやノートなどのチェックはしているけれど…?

「○○(適用題等)ができる。」
「○○の内容がノートの記述に見られる。」等、右の参考資料(特に第3編)を参考にして、子供の姿や学習状況を具体的に設定し、適切に評価しましょう。

どう評価すれば
いいのか?

3つの観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のどれを評価するか明確にして設定しましょう。

【必読書】
『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』(国立教育政策研究所)

小中学校ともに、こちらからダウンロードできます!